

20只環発第997号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

只見町長 小沼 昇



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました、上記の件について、
別紙のとおり回答いたします。

① 公共交通の整備が進んだ都市部と、整備水準の低い山間部を結ぶ幹線道路網の整備は、食糧の自給率向上等々の内需拡大を目指す経済への転換と、我が国の地域特性を活かした質の高い商品の流通に欠く事が出来ないと思う。

② 道路の投資効果を計る尺度が効率一辺倒であっては、地域格差が拡大するばかりである。
地域特性を加味した指標を定め、道路の必要度を計る。

③ 地域の生活道路整備は自治体の主体性を重視し、色々な道があっても良いのではないか。

②－１ 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福 島 県 只 見 町

○現状

いつ開通するかわからない国道、冬期間における通行止めとなる国道、川に沿って走るカーブが多く狭い道路等、どう見ても満足できる道路整備がされているとは思えない。さらに、高速道路までも遠く、時間もかかり利用するにも大変であり、特に長い冬期間の冬道通行はなおさらの事、容易でない状況である。

冬は、雪道を嫌い外部から訪ねる人も少なく地域の経済産業にも影響を与えている。

○課題

急なカーブ区間、冬期間のスリップ等による事故の多い危険な区間の解消と1.5車線区間の整備、子供や地域の人が安全、安心して通れる歩道の整備が必要。

これらの整備により、地域の人々が安心して生活でき又、高速道路までの時間の短縮、観光客の増加も見込まれ、とりわけ国道289号新潟県三条市までの早期開通は、地域経済の活性化のためにも大いに望まれているところである。

当地域の資源を活かした将来像として、

- ① ぶな等、広大な広葉樹林を保護し、国民休養の地域を目指している。
- ② 豊かな森林から得られる水資源等々を活かした全ての産物のブランド化と加工、里山を活かした森林のエコ産業の創出を目指す。
- ③ 「奥会津地域」の歴史と文化遺産の上に、若者の定住を目指す。
- ④ 水力電源供給地域としての貢献が只見川全流域に還元され、安心した供給が図られるよう努める。

以上の事を目指しているが、本町の道路体系は高速道路までも遠く、国県道も川に沿って走りカーブも多く山間の狭い道路である。さらに、国道２５２号線の六十里峠は冬期間交通止め、国道２８９号の八十里峠は未だ通行できない国道であり、県道についても整備の遅れている地域である。さらに冬期間は、雪のため道幅も狭くなり町外に出るには大変で、袋小路的な立地条件の地域となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福 島 県 只 見 町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	・ 国道 2 8 9 号（八十里越）の早期開通通 ・ 国道 2 5 2 号（六十里越）の春先早期再開通	両国道の早期開通による交通量の増加は地域の経済、産業に大きな活力を与え、さらに袋小路的立地条件から脱却する事ができる。	
良好な生活空間と自然環境の形成	・ 冬季孤立住宅の解消のための道路整備 ・ 幅広路肩と地場産材を利用した道路づくり	冬期間、老人世帯であっても除雪により、安心して生活することができる。 幅広路肩とすることで、冬期間でも除雪により歩道の確保ができる。自然景観を損なわない道路づくりができる。	